

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立味原幼稚園

令和 8 年 4 月

大阪市立味原幼稚園 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○新型コロナウイルス感染症の終息を迎えた現在でも、社会情勢の変化、人的交流の希薄化、体験活動の減少化等による子どもたちの育ちへの不安は大きい。現在は I C T の活用が大きく取り上げられつつも、体験から得られる感動、思考、伝え合い等、A I に置き換えられない人間ならではの知性を磨く幼児教育を推進することが必要である。また、現代は将来の予測が困難な時代であり、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいを捉える「ウェルビーイング」の考えが重視されている。

○国においては、令和 6 年 10 月に「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会 最終報告」が打ち出され、幼児教育の重要性と、一人一人が人生においてウェルビーイングの向上を実現していくことができるようにすることが必要であること、が示されている。

また、地域の幼児教育の質向上に向けた、公立幼稚園の具体的な役割として、幼児教育の拠点園(地域に幼稚園教育要領の趣旨やこれに基づく実践を浸透させる役割)、小学校以降との円滑な接続(域内の小学校と幼児教育施設等をつなぐ結節点)、全ての幼児への質の高い幼児教育の機会を保障、幼児教育について地域に発信する役割、などが挙げられている。

○大阪市においては、近年の「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、働き方改革の取組が推進されてきた。令和 8 年度からは新たに、「教職の魅力向上方針」、「学校園の働き方ビジョン」及び「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」が策定され、これまで以上に「働きやすさ」と「働きがい」を実感しながら自己実現できる職場、多様な教員がいきいきと働く学校園の実現が求められている。

○本園の隣には真田山公園があり、自然に囲まれた穏やかな環境である。区内のみならず区外からの通園も多く、進学先小学校も複数校ある。また、高津、真田山、味原からなる地域五校園のつながりがとても深く、地域との交流も盛んである。

子どもたちは素直で明るく、様々な体験を通して、主体的な活動に取り組み、自分の思いを表現しながら遊ぶ姿が見られる。園児が少数数であることから、地域や近隣学校園とのつながりを意識して保育を積み重ねている。中でも味原小学校とは、継続的に幼小連携を推進しており、小学校教育への円滑な接続に努めている。

本園のキャッチフレーズでもある「明日も行きたい アットホームな味原幼稚園」として、子どもも、保護者も、地域の方も、教職員も、安心して通える幼稚園をめざしている。様々な人との関りを意識しながら、自分で考え、自分で決めて、自分で行動する主体的な子ども、自分の周囲の人々に気持ちを向けられる子どもを育むため、保育の在り方と幼児教育の資質向上を推進していきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

○令和 11 年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年で 90%以上にする。

「幼稚園では、自分自身や周りの人を大切にする気持ちを育むようにしている」

○令和 11 年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年で 90%以上にする。

「子どもは、自分の身を守るための行動の大切さについて分かってきている」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○令和 11 年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を 90%以上にする。

「子どもは、幼稚園生活を楽しみ、意欲的に活動しようとしている」

「幼稚園では、遊びを通して、主体的に活動しようとする子どもを育むようにしている」

○令和 11 年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年 90%以上にする。

「子どもは、健康に過ごすために必要なことについて、興味や関心をもっている」

「幼稚園では、健康な生活に必要な習慣を身に付けるような指導を行っている」

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○令和 11 年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年で 90%以上にする。

「子どもは、様々な人との関わりを喜んでいる」

「幼稚園では、教育内容が分かるよう家庭や地域に発信し、連携することを大切にしている」

○令和 11 年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を 90%以上にする。

「幼稚園では、小学校との交流活動を通して、子どもたちが小学校生活へのイメージや憧れをもてるようにしている」

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年で70%以上にする。

「幼稚園では、自分自身や周りの人を大切にする気持ちを育むようにしている」

○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年で70%以上にする。

「子どもは、自分の身を守るための行動の大切さについて分かってきている」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を70%以上にする。

「子どもは、幼稚園生活を楽しみ、意欲的に活動しようとしている」

「幼稚園では、遊びを通して、主体的に活動しようとする子どもを育むようにしている」

○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年70%以上にする。

「子どもは、健康に過ごすために必要なことについて、興味や関心をもっている」

「幼稚園では、健康な生活に必要な習慣を身に付けるような指導を行っている」

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年で70%以上にする。

「子どもは、様々な人との関わりを喜んでいる」

「幼稚園では、教育内容が分かるよう家庭や地域に発信し、連携することを大切にしている」

○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を70%以上にする。

「幼稚園では、小学校との交流活動を通して、子どもたちが小学校生活へのイメージや憧れをもてるようにしている」

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立味原幼稚園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年で70%以上にする。 「幼稚園では、自分自身や周りの人を大切にする気持ちを育むようにしている」 ○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年で70%以上にする。 「子どもは、自分の身を守るための行動の大切さについて分かってきている」	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】 互いに、ありのままの姿や違いを認め合える保育を行う。 指標 ・各年齢に応じて保育指導案の内容を工夫し、互いに見合う機会をもつ。（学期に1回以上） ・保育指導案を活用し、子どもの実態を把握する。（月に1回以上） ・自分自身を大切にする指導や環境構成の見直しを行う。（学期に1回以上）	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 交通ルールや園内の安全指導を実施する。 指標 ・学校安全計画の見直しを行う。（学期に1回以上） ・安全な生活に視点を当てた幼児の姿を発信する。（学期に1回以上）	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立味原幼稚園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を70%以上にする。 「子どもは、幼稚園生活を楽しみ、意欲的に活動しようとしている」 「幼稚園では、遊びを通して、主体的に活動しようとする子どもを育むようにしている」 ○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年70%以上にする。 「子どもは、健康に過ごすために必要なことについて、興味や関心をもっている」 「幼稚園では、健康な生活に必要な習慣を身に付けるような指導を行っている」	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】 就学前教育カリキュラムを活用し、子どもが主体的に活動できるような保育内容の工夫に努める。 指標 ・就学前教育カリキュラムの園内研修を実施する。(学期に1回以上) ・幼稚園教育要領等に基づき、教育課程、指導計画を見直す。(学期に1回以上) ・互いの保育を見合う機会をもつ。(学期に1回以上)	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 すすんで身のまわりを清潔にしようとするような指導を工夫する。 指標 ・実態に応じた保健指導を工夫する。(学期に1回以上) ・園の取組を、地域や保護者に発信する。(学期に1回以上)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立味原幼稚園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を全学年で70%以上にする。 「子どもは、様々な人との関わりを喜んでいる」 「幼稚園では、教育内容が分かるよう家庭や地域に発信し、連携することを大切にしている」 ○今年度末の本園保護者アンケート調査の以下の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を70%以上にする。 「幼稚園では、小学校との交流活動を通して、子どもたちが小学校生活へのイメージや憧れをもてるようにしている」	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 家庭や地域に幼稚園の教育内容を知らせる。 指標 ・ホームページやドキュメンテーションなどで園生活の様子を発信する。 (ホームページ:週に1回以上) (ドキュメンテーション:学期に1回以上) ・今年度の実態に応じて、未就園児活動の年間計画を実施する。	
取組内容②【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 小学校教諭と互いの教育を理解し合えるよう、幼小連携を推進する。 指標 ・年間計画や「味原アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」を活用し、味原小学校との交流活動を実践する。 ・幼小連携の実践内容について、地域や保護者へ発信する。(年3回以上)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	